



故人のお布団を丁寧に供養、処理する

お布団供養処理サービスパック

登録実用新案第3116117号

こんなことで悩んでおられませんか？

- 故人が毎日使っていたお布団を粗大ゴミとして出すことに抵抗がある。
- お布団を粗大ゴミとして出す手続きがわずらわしい。
- 思い入れのある衣類やぬいぐるみを供養したい。
- 写真や香典袋をどうして処分していいかわからない。



ご好評
いただいで
おります

故人がお使いになっていた**最期のお布団や衣類を、**
寺院より僧侶を迎え、ご供養させていただき、
適切に処理致します。

- ▶ ご供養は、**合同**で供養させていただきます。
- ▶ キーパズホームページで**合同供養**の様々を見ることができます。

こちらからご覧になれます

▶▶▶ <http://keepers.co.jp/>



▶ 合同供養の様様

安心してご利用下さい

- ご希望の方には、**合同供養**終了後に供養証明書を、供養していただいた僧侶の寺院より郵送にて発送させていただいております。
- 本サービスについては、遺品処理のプロセンター**キーパズ**が責任を持って処理いたします。

料金について

- 料金には、布団袋パック代金・引取運送代金処理代金が含まれております。
- 合同供養代は当社負担にてサービスで行わせていただきます。



▼ お問合せお申し込みはこちらまで

明朗価格・真心サービスの

愛心殿

三河葬具總本店

24時間受付
年中無休

☎ 0532-54-1199

<http://www.aishinden.com>

簡単すぐできる 梱包の手引き

布団袋

登録実用新案
第3116117号



1

紺色の手さげ袋の中から、紺色・半透明の布団袋各1つずつ、消臭液の入った容器、輪ゴム、申込書を取り出します。

2

半透明の袋に布団を入れます。通常の大きさでしたら、3つ折りするとスムーズに収納できます。

3

消臭液の入った容器をあけ、布団・まくら等に消臭液をたらしめます。

4

半透明の袋をとじます。口をねじり、2つ折りにした部分を輪ゴムでとめます。

5

次に、セットが入っていた手さげ袋に遺品（写真や香典袋など）を入れていきます。

※不燃物・危険物はいれなくてください。
(入れてはいけないもの：時計、カメラ、ライター等)

6

紺色の袋に、先ほど口をとじた半透明の袋を入れ、その上に、遺品の入った手さげ袋を入れます。

7

紺色の袋をとじます。縦の長い方から先にとじ、ヒモをしっかりと結びます。

続いて短い方をとじます。2ヶ所あるので、こちらもしっかりと結びます。

8

申し込み書に記入捺印し、布団袋側面の差し込み口に挿入してください。

9

荷造りが終わりましたら、下記集荷受付のフリーダイヤルに電話をし、回収希望の旨をお伝え下さい。

お布団をお預かりし、僧侶の読経後、処理いたします。処理終了後ご希望の方には、供養証明書をお送りさせていただきます。

商品についてのお申し込み・料金については、裏面記載

裏面へ の担当葬儀事業社にお問い合わせ下さい。

お布団袋の集荷依頼は、フリーダイヤルまでお電話くださいませ。



遺品処理のプロセンター
キーパーズ

全国直営 <http://keepers.co.jp/>

0120-754-070